

NPO 法人

(同) 学生部 MLS 医療と法律研究会

医療と法律 研究会 協会

学生シンポジウム 2011年10月23日(日)

- 場所 順天堂大学・有山記念講堂
(JR・丸ノ内線御茶ノ水駅 徒歩5分 7号館3階)
- 時間 開会13:00～(懇親会18:00～)
- 企画
 1. 基調講演
内藤俊夫先生(順天堂大学准教授・MLS アドバイザー)
 2. 演劇・模擬裁判
「医療訴訟と医療の安心～JIN 過去から未来～」
実際に起こった事件を題材に、学生が制作。人気コミック「JIN-仁-」との関係とは。それは過去への技術の伝達ではなく、未来のよりよい医療へ向けた布石。
 3. パネルディスカッション(予定)
司会:大川淳先生(東京医科歯科大学医学部教授)
パネリスト:張念中先生(台北医科大学副医学部長) 他
- 参加 医療・法律系の学部・大学院に所属、またはこれらの問題に関心のある学生であればご参加いただけます。参加費無料(但し、懇親会費は飲食代1,000円を別途申し受けます)。
要予約。お申し込みは、学生部MLSホームページ上のフォーム、または下記メールアドレスに「お名前(ふりがな)・年齢・ご所属の大学(学部・学年)・懇親会への出欠」をご記入の上、送信下さい。
- お問
合わせ <http://iryotohouritsu.web.fc2.com/symposium/sympo.html>
MAIL: mls_sympo@yahoo.co.jp



シンポ特集ページ
申込フォーム有

2011年10月23日(日)開催!

医療と法律研究会 学生シンポジウムとは?

NPO 法人・医療と法律研究会は、医療過誤訴訟の争点やリスク要因、あるいは、その背景にある医療制度等を分析し、今後の医療安全対策に活かすための活動を行っている医師・看護師等の専門家による研究会です。医療安全対策を進めなければならない理由は、医療行為を守ることが、医療の進歩を助け、また萎縮医療の解消につながり、結果的に患者の不利益の回避や国民全体の利益の増進に資すると考えているからです。NPO 法人・医療と法律研究会の活動は多岐にわたり、専門家による定期的な研究会の開催、講演・講師の派遣、会報誌の発行、年一回のシンポジウム開催などがあります。

当団体では、2010年3月に発足した学生任意団体「医療と法律研究会 Medical and Law Study (以下MLSと呼ぶ)」の活動を評価し、10月に学生部として承認し、臨床に出る以前の医学生や、法曹を目指す法学生を対象に教育的支援を実施しております。

MLS では、学生が主体となって、順天堂大学を拠点に毎月勉強会を開催しております(→詳しくは、Web サイト「医療と法律研究会」をご覧ください)。

そこで、このたび、MLS 発足1周年記念イベントとして、恒例のシンポジウムを学生主体で企画・運営し、学生の参加者を対象に開催することを決定いたしました。以上が、2011年度学生シンポジウム開催の経緯となります。

MLSの活動について

MLS は、医療系の学生と、法律系の学生(法学生・法科大学院生)とを対象に、実際に起こった医療訴訟事例を題材に、ほぼ毎月勉強会を行っております。そこでは、安全な医療の実現と、視点の異なる医療系の学生と法律系の学生の相互理解を図ることを目的としています。

勉強会の活動は主に順天堂大学を拠点に行っておりますが、参加する学生の所属はさまざまで、順天堂大・東大・千葉大・早稲田大・慶應大・中央大・東京医科歯科大・東京女子医大・一橋大・慈恵医科大・日本医科大など、計20校以上の学生が集まっております。会員数は170人を超え、勉強会参加者数も毎回増加しており、2011年度に行った4月・5月の2回の勉強会参加者数は、のべ100人を突破いたしました。活動開始から1年以上が経過し、これまで行った勉強会の成果を還元する一つの機会とすべく、親団体である医療と法律研究会のご協力のもとで、学生主体でシンポジウムを企画いたしました。

学生シンポジウム「医療訴訟と医療の安心～JIN 過去から未来～」について

今回の学生シンポジウムでは、演劇・模擬裁判「医療訴訟と医療の安心～JIN 過去から未来～」を上演いたします。模擬裁判とは、実際に起こった事件をもとに、裁判の様子を舞台上で再現するものです。今回の模擬裁判では、平成9年に広島県で起こった産科の事例をもとに、学生が脚本・演出を担当いたします。タイトルには、近年大ブームを巻き起こし、テレビドラマとしても放映された漫画「JIN-仁-」になぞらえ、医療訴訟の現状から、みんなの医療の安心という未来に、時代を縦断してつなげてゆきたいという学生たちの想いが込められております。

医療の現場で起きた事件を模擬裁判として今回の学生シンポジウムで扱う目的は、主に次にあげる二つです。一つは、実際の医療過誤訴訟がどのような経過をとるのか、学生参加者の皆様に具体的なイメージを抱いていただくことです。病院から法廷までの間に起こった出来事を舞台上で再現することにより、事件に巻き込まれ、関係するに至った当事者の人々がそこでどのような気持ちを抱くのか、あるいはその重みを実感していただけることと思います。

学生シンポジウムの二つ目の目的は、実際の事件を出発点としながらも、「ではどうすれば防げるのか?」について、折に触れて立ち止まり、学生参加者の皆様に考えていただくことにあります。

そして、演劇ならではの「Happy End」を、実際に参加者の皆さんの力で作りあげていただきます(視聴者参加型企画)。演劇の途中で経過の整理や、論点についての解説を所々で行いますので、医学生と法学生のどちらも平等な視点から考えていただくことが可能です。

私たちは、上におけた二つの目的意識—具体的なイメージと、医療過誤は防げるのだという意識—を未来ある学生の皆さんに持っていただくことで、「萎縮医療」や、方向性を失って現場で頭を抱える医療者の諸問題を打破し、安心して安全な医療の実現を目指す今回のテーマを通して2、3年後には医療現場や法曹界に出る学生参加者を明るく日本の未来へと導きたいと考えております。

アクセス/問い合わせ



学生部 医療と法律研究会(MLS)

●ホームページ(シンポジウム特集)

<http://iryotohouritsu.fc2.com/symposium/sympo.html>
なお、オモテ面にシンポジウム特集ページの二次元バーコードを掲載しておりますので、併せてご利用ください。

●メールアドレス(お問い合わせ)

mls-sympo@yahoo.co.jp

参加申し込みはこちらのMLSサイトのシンポジウム特集ページから、参加申し込みフォームにご記入いただくか、または上記メールアドレス宛てに直接、お名前(ふりがな)、ご所属(学部・学年)、懇親会への出欠とお問い合わせ内容(任意)をご記入のうえ、担当者宛にお送りください。